

再評価結果(平成15年度継続予定箇所)

事業名	JR 仙石線多賀城地区連続立体交差事業	事業区分	街路	事業主体	宮城県
起 終 点	起点 多賀城市東田中2丁目 終点 多賀城市伝上山1丁目			延長	1.78km
事業概要					
多賀城市の中心市街地を分断しているJR仙石線多賀城駅付近を高架化することにより、4箇所の踏切を除去し道路交通の円滑化を図るものである。					
H11事業化	H10年度都市計画決定	H16用地着手	H17年度工事着手		
全体事業費	約132億円	事業進捗率	1.8%	供用済延長	km
計画交通量					
費用便益 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 2.69 (残事業)	(残事業)/(全体事業) 129.97 / 132.00 億円 事業費: 129.97 億円	(残事業)/(全体事業) 274.37 / 274.37 億円 走行時間短縮便益: 230,36億円 走行費用減少便益: 29.21億円 交通事故減少便益: 14.80億円	平成16年	
事業の効果等					
土地の利用価値が高まり、今まで駅の南北で分断されていた地域が結びつくなど地域相互の関連が強まり、市街地の一体化が図れる。また、市では連続立体交差事業に合わせて土地区画整理事業を行っており、駅を中心に商業の活性化を図るなど、秩序ある発展と均衡のとれた都市部形成が期待できる。					
関係する地方公共団体等の意見					
「多賀城駅周辺まちづくり協議会」を設立し、連続立体交差事業に整合するまちづくりを目指し、事業の早期着工、早期実施を強く要望している。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
平成13年度に多賀城市が定めた第4次総合計画にも重点事業として位置づけられ、事業への期待がますます高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地補償:平成16年度より着手 工 事:平成17年度より着手					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
本事業は、多賀城市が施工する駅周辺土地区画整理事業と一体となって進めており、平成23年度の事業完了に向けて事業を展開中である。現時点では、特段の遅れはない。平成16年度から用地買収が行われる予定である。					
施設の構造や工法の変更等					
特になし					
対応方針	事業継続				
対応方針の理由	事業の必要性、重要性は変わらない				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。